

「地域×人×活動」をつなぐ拠点 RiBBOON

大阪府・大東市社会福祉協議会



「野崎まいり」として知られ、古くから大阪の庶民に愛されている野崎観音。飯盛山の麓に位置する。境内は四季折々の景色が美しい。大東市の身近なお寺として、多くの人々が参拝する。

大東市社協では、令和5年度から新たなネットワークづくりをめざして、空き家をリノベーションした拠点「RiBBOON」(リボン)を立ち上げた。今回は「RiBBOON」を訪れ、市社協が今まで培ってきた地域とのつながりや、めざす拠点の姿をうかがった。

社協データ (2024年4月現在)

【職員数】 21名 (正規職員11名、非常勤職員10名)

【主な事業】

- 法人運営事業
- ボランティアセンター事業
- 小地域ネットワーク事業
- 日常生活自立支援事業
- コミュニティソーシャルワーカー配置事業
- お茶のみ休憩所 (まちかどサロン事業)
- 高齢者見守り事業
- ふれあい出前講座
- 生活困窮者自立相談支援事業
- 善意銀行事業
- 地域づくり事業
- 重層的支援体制整備事業 (移行準備)

新たなつながりづくりをめざした拠点「RiBBOON」

大東市社会福祉協議会 (以下、市社協) では、以前から福祉委員や民生委員・児童委員を中心に小地域ネットワークを構築しており、地域で福祉活動に取り組む住民と市社協のつながりは深かった。しかし市社協が事業・活動のなかで出会う人々が固定化されており、今まで市社協と関わりがなかった住民が、既存の居場所や事業へ関わることへの難しさを課題と感じていた。そのため、「幅広い住民をつなぐ新たなネットワークづくりに取り組む必要があり、団体の所属の有無、年齢、個人の特性を問わない、多様な人々が集まることができる拠点を作りたいと考えました」とコミュニティソーシャルワーカーの藤井美貴さんは語る。市社協は市の総合福祉センター内にあり、同センターの利用者は主に高齢者である。社協に相談に訪れる際、高齢者は気兼ねなく立ち寄れるが、子どもや子育て世帯、若者、障害者などにとっては訪れることの少ない場所であり、気軽にふらっと立ち寄ることは難しい。そこで、令和4年3月、誰もが気軽に立ち寄れる拠点を新たに作ることとなった。

この拠点は、生まれ変わり・再生・復活を意味する‘reborn’と、結ぶを連想する‘リボン’を掛け合わせ、「RiBBOON (リボン)」と命名した。RiBBOONの機能として、①教室、②情報発信・収集、③フードバンク・リサイクル、④拠点の4つを掲げた。

まずはRiBBOONの場所の検討を始めた。新規事業のため、市社協職員が頻りに拠点を訪れながら住民とともに運営できるよう、市社協周辺を候補地とするなかで2階建ての木造集合住宅に空き室があることを知り、大家と調整のうえ、使用することとなった。大家は地区の福祉委員を務めるなど、以前から市社協とのつながりがあった。空き室が地域の拠点として活用されることについて、当初は騒音への懸

念や、不特定多数の人が出入りすることへの不安があったが、大家と市社協職員が活動を近隣に丁寧に説明したことで、反対の声が上がることはなかった。

準備期間でのつながりの創出

続いて、空き室のリノベーションや拠点の活用方法に関する議論を開始した。リノベーションは、約10年前に市社協のボランティア担当職員と関わりのあった環境デザインを専門とする大学教授に依頼し、研究室の学生がデザインを考案することとなった。学生には、①地域共生社会について、②社協について、③RiBBOONの目的について説明し、RiBBOONをどのような場所にしたいかを伝えた。学生は集合住宅の竣工日や歴史、周囲の環境について調査を行った。そして2回のデザイン提案を経て令和4年8月、デザインが決定した。

リノベーションの実施にあたり、同年10月から市の広報誌と市社協のSNSを使ってDIYボランティアを募集した。すると、DIYをやってみたいと思っていた人や自宅以外でDIYを行える場所を探していた人など、20代から60代の22名からの応募があった。ほとんどがこの募集で初めて社協を知ったといい、「DIYに参加することにより新たなつながりができた」「一度DIYをしたと思っていた。自分のしたいことが誰かのためになることがうれしい」との声が聞かれた。3年ほど空き室だったため、うっそうと茂る庭の草木のせん定から始め、デザインのポイントでもあるウッドデッキの作成など、計26回の作業を経て翌年3月に環境を整えた。

大学教授の人脈で、現在は舗装業をしている約10年前の元学生に、DIYボランティアとして専門的なサポートをしていただいた。「社協は『つながり』とよく言いますが、



だいとうし
大東市
(大阪府)

【地域の状況】 (2024年3月現在) ●人口/116,193人 ●世帯数/58,176世帯 ●高齢化率/27.5% (令和5年度)

大阪府の東部に位置する。飯盛山の山頂に築かれた城跡は国史跡にも登録され、史跡を体感できるハイキングコースとして親しまれている。「子育てするなら、大都市よりも大東市。」をブランドメッセージに掲げ、子育て施策が充実。コンパクトな割に図書館が3館、ベビーカーで動ける範囲に必要なものが集約している「ちょうど良い」まち。

新しいつながりだけでなく、10年ぶりという時間を越えたつながりも目の当たりにしました。デザインをしてくれた学生やDIY・イベントの参加者がRiBBOONにふらっと立ち寄ってくれたらうれしいです」と藤井さんは語る。作業の様子は集合住宅の住民も日々目にしており、「ウッドデッキやフェンスなどができて見違えるようにきれいになった。子どもたちの声も聞こえ、元気がもらえる」など、前向きな反応があった。市社協でボランティア担当と兼務してRiBBOONに携わる堀越星香さんは「RiBBOONに対して、多くの人が社協職員と同じくらいの思い入れをもってくださっていると感じています」と語る。さまざまな層にボランティアを募集して、大家や周辺住民にも見えるかたちでリノベーションを行ったことで、オープンする前から、すでに拠点としての機能を果たしていたといえるだろう。

RiBBOON オープン後のイベントや効果

令和5年4月、RiBBOONが正式にオープン。コロナ禍に開催して好評だったスマホ講習会をアレンジし、毎週火曜日と木曜日にIT相談ができる場を設けてRiBBOONに来訪するきっかけづくりを狙った。「スマホの使い方を聞きに来た高齢者同士が、相談の順番待ち中に会話をしている姿もよく見ます。想定していなかったつながりも生まれてうれしいです」と堀越さん。

また、コロナ禍で生活困窮者の増加を目の当たりにし、市社協に寄付された食品を提供することができないかという思いからフードバンクを行っている。市内の団体や企業に回収箱を設置し、集まった食品を毎月第2水曜日にRiBBOONで配布する。食品を渡す際に市社協職員が気になる利用者を見つけるアウトリーチの場にもなっている。民生委員・児童委員や市社協職員が丁寧に周知を重ねたことで、1年間の利用者は延べ626名に上る取り組みとなった。会場では、食品を受け取った後に、ひきこもりだった方が淹れたコーヒーを飲むこともでき、利用者からも好評だ。

ほかにも、隔月でテーマの違うイベントを開催している。6月は異文化交流を通じて、地域に住むさまざまな人とつながることを目的にお茶会、夏休みには小学生を対象にした宿題教室を10日間開催した。10月には地域住民と収穫祭、12月には校区(地区)福祉委員会との協働でジャガイモ掘りや聴覚障害がある方たちとクリスマス手話教室、2月には近隣の産婦人科とのつながりづくりをめざした子

育て世代向けの読み聞かせ会を開催した。6回のイベントには延べ264名が参加し、「イベントをきっかけにRiBBOONに来ることができた」「同世代の子どもをもつ方と話すことができよかったです」「こんな風に集まれる場があることを知らなかった」などの声が聞かれている。

既存のつながりと新たなつながり

RiBBOONでは「MUSUBiサポーター」を募集している。MUSUBiサポーターとは、地域のつながりづくりを手伝うボランティアである。サポーターのなかには発達障害があり、ひきこもりだったという方もおり、「自分が誰かの役に立てたら」との思いでフードバンクの回収箱に集まった食品の仕分けを行っている。ほかにも、退職後に今までの経験を活かしたいと登録している60代の方など、計17名が活躍している。取材中も、数日前に行われたイベントに初めて参加した方が、MUSUBiサポーターに応募してください、自宅にある本をRiBBOONで使ってほしいと訪れた。

「今まで市社協が築いてきたつながりを大切にしながら新しい場所を作ったからこそ、新たなつながりが生まれたと感じています」と藤井さんは語る。市社協が長年丁寧に積み上げた民生委員・児童委員や地域の企業とのつながりを活かして、RiBBOONのさまざまな活動を展開している。以前からのつながりを使ったイベントや周知と同時に、SNSを活用したり、大学生を巻き込んだりすることで、今まで市社協と関わりのなかった方とのつながりや、市社協では想定していなかったアイデアが多く生まれている。新しい発想や事業も楽しんで受け入れる市社協の姿勢も、RiBBOONを魅力的な場所にしている理由といえるだろう。

市社協では、今後市内に新たに3か所の拠点を作り、さまざまな活動を実験的に実践し、地域での取り組みにつなげたいと考えている。「地域×人×活動」を丁寧につなぎ合わせ、地域の事業者や団体とも連携した取り組みを進めることが期待される。



RiBBOONで開催したDIYイベント